

「防災・減災、国土強靱化のための 5か年加速化対策」 による愛知県の成果

2026年3月

愛知県

愛知県における主な事業

主な事業位置図



番号	路線名等	種別	事業内容
1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策			
①	矢作川	河川	樹木伐採・河道掘削
②	青木川放水路	河川	地下放水路
③	刈谷海岸、東浦海岸	海岸	耐震堤防
④	(国) 247号〔西知多道路〕	道路	道路ネットワーク機能強化対策
⑤	(主) 名古屋岡崎線	道路	道路ネットワーク機能強化対策
⑥	(主) 瀬戸大府東海線	道路	道路ネットワーク機能強化対策
⑦	(一) 岡崎幸田線	道路	無電柱化対策
⑧	中柴区域	砂防	急傾斜地崩壊対策
⑨	三河港(田原地区)	港湾	耐災害性強化対策
⑩	赤羽根漁港海岸	漁港	津波対策
⑪	東三河ふるさと公園	公園	防災公園機能確保対策
2 予防保全型メンテナンスへの転換に向けた老朽化対策			
⑫	日光川排水機場	河川	老朽化対策
⑬	(主) 知多東浦線	道路	老朽化対策
⑭	五条川左岸浄化センター	下水	老朽化対策
⑮	豊川浄化センター	下水	老朽化対策

1. 激甚化する風水害や切迫する 大規模地震等への対策の事例

5か年加速化対策による愛知県河川事業の成果

1

矢作川では、既往洪水(2000年9月東海豪雨)と同程度の降雨による洪水を安全に流下させるため、樹木伐採、河道掘削を実施することにより流下能力を向上させ、再度災害防止及び被害の軽減を図る。

(1) [対策名] 1-1 流域治水対策

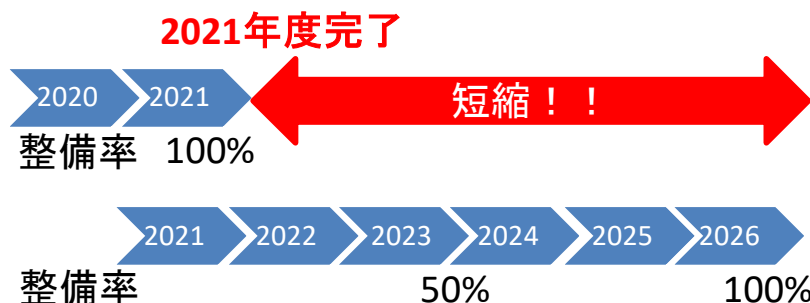
- ◆ 事業名 防災・安全交付金
(総合流域防災事業)
やはぎがわ
- ◆ 河川名 矢作川
(豊田市石野町地先)

(2) 事業概要

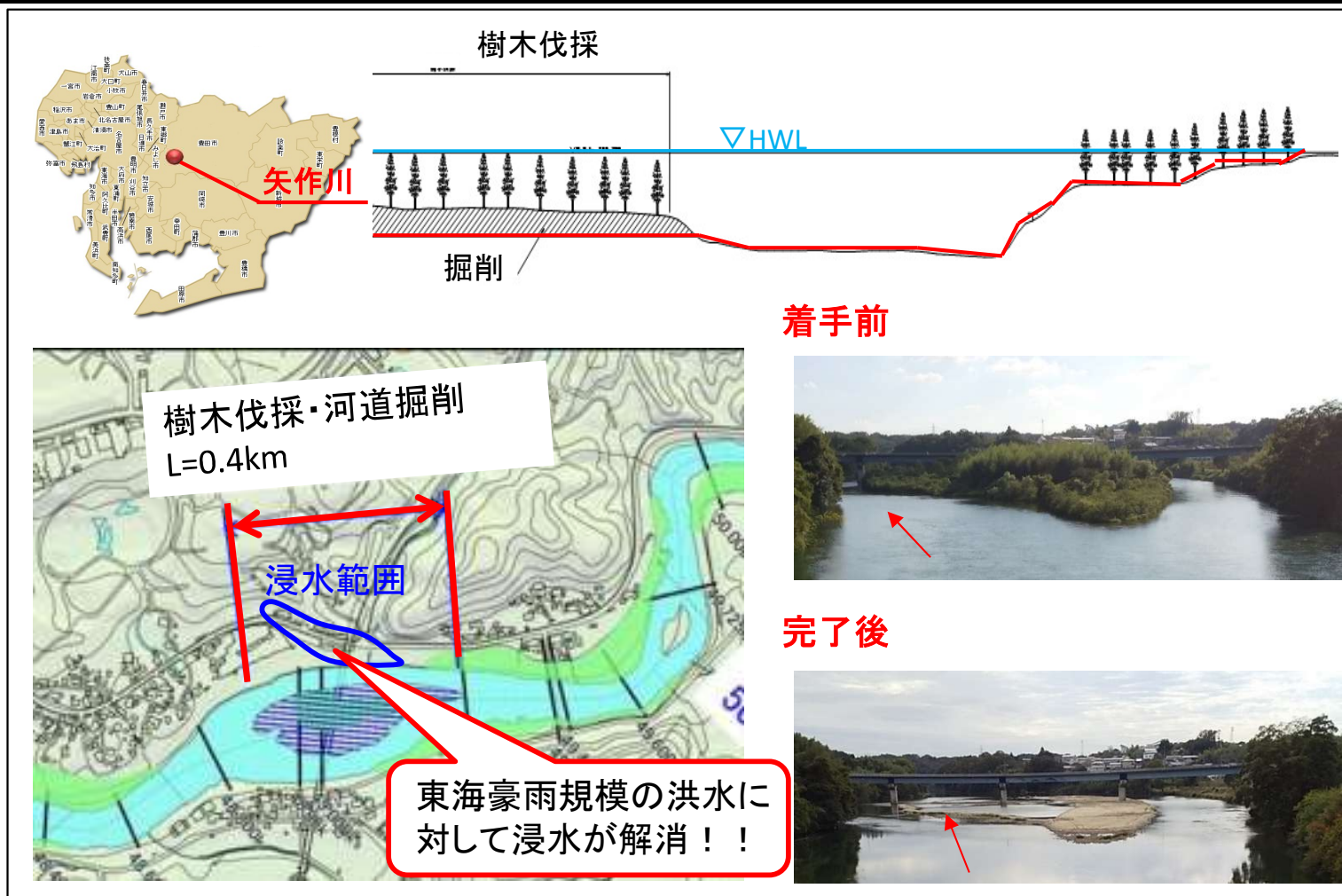
- ◆ 目的: 治水安全度の向上
- ◆ 総事業費: 4.6億円
(5か年加速化対策事業費: 4.6億円)
- ◆ 整備内容: 樹木伐採・河道掘削
L=0.4km
V=37,700m³

(3) 事業スケジュール及び効果

◆ 5か年加速化
対策活用



◆ 当初計画
(県単独費)



〔効果〕

- 樹木伐採・河道掘削を実施することで河積阻害を解消し、洪水時の計算水位(w=1/10)で整備前と比較すると約0.3mの水位低減効果!
- 東海豪雨規模の洪水に対して浸水が解消!

5か年加速化対策による愛知県河川事業の成果

青木川放水路は、流下能力が低く、浸水被害が多発している青木川、般若川及び五条川支川((準)昭和川、(準)奈良子川)の洪水調節を行い、浸水被害の軽減を図っている。1981年より青木川放水路整備計画を進め、先行整備した約5.2kmを供用し、5か年加速化対策予算を活用することで全区間を完了した。

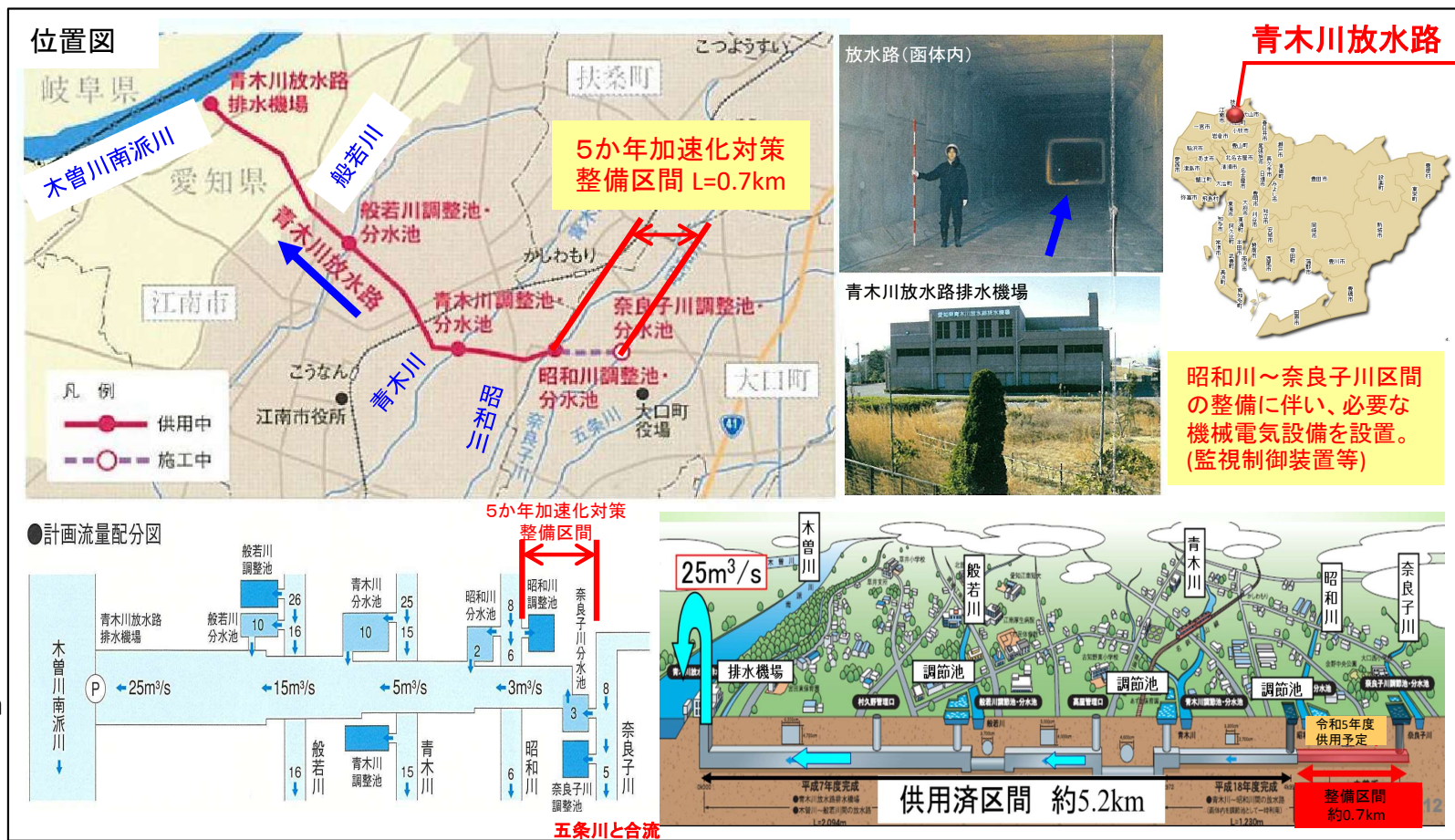
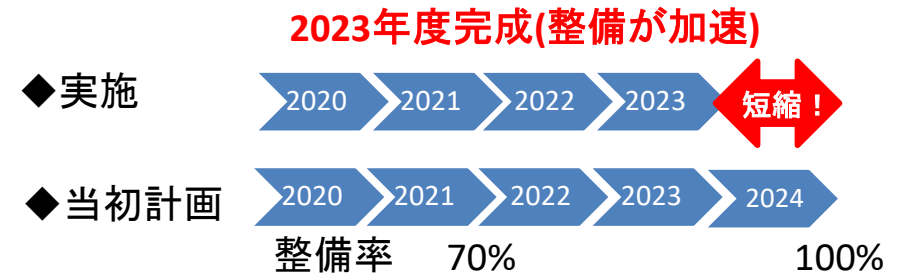
(1) [対策名] 1-1 流域治水対策(河川)

- ◆事業名 防災・安全交付金 (総合治水対策特定河川事業) あおきがわ
- ◆河川名 青木川放水路 (丹羽郡大口町竹田地内始め)

(2) 事業概要

- ◆目的: 治水安全度の向上
- ◆総事業費: 8億円 (整備計画総事業費87.2億円) (5か年加速化対策事業費: 8億円)
- ◆整備内容: 放水路整備 L=0.7km (昭和川～奈良子川区間)

(3) 事業スケジュール及び効果



【効果】

- 奈良子川からの洪水を毎秒3m³放水路へ流すことで、五条川への流入量を減少!! (1時間あたり10,800m³※の洪水を処理することが可能) ※25mプール20杯分の水量
- 五条川を始め新川上流域の早期浸水被害軽減が可能!!

5か年加速化対策による愛知県海岸事業の成果

命を守るとともに、産業首都愛知の経済活動を維持するため、刈谷海岸、東浦海岸の堤防対策を加速化。他事業と連携し、早期の浸水被害軽減効果を実現させる。

(1) [対策名] 1-4 流域治水対策(海岸)

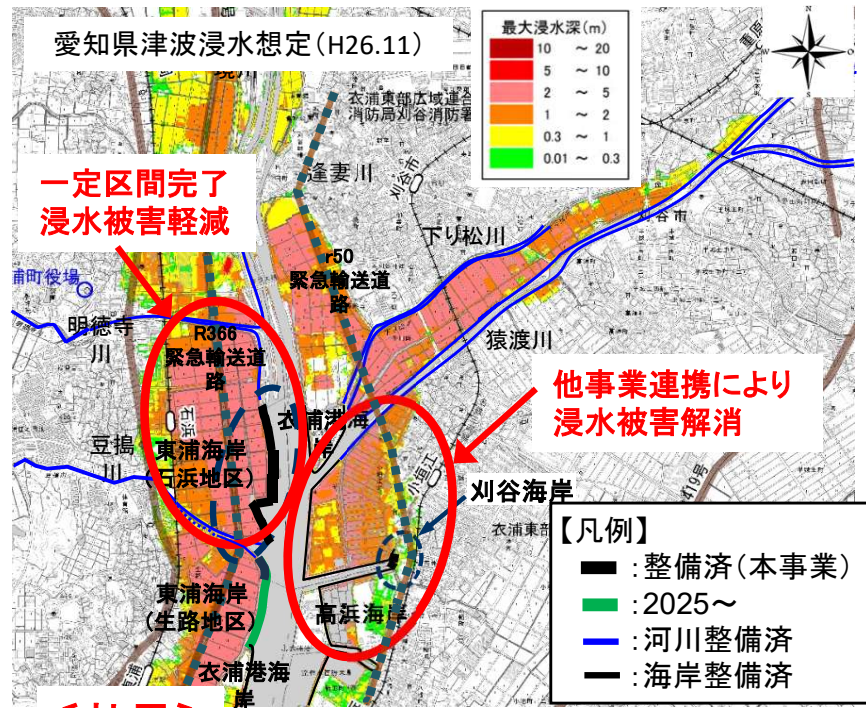
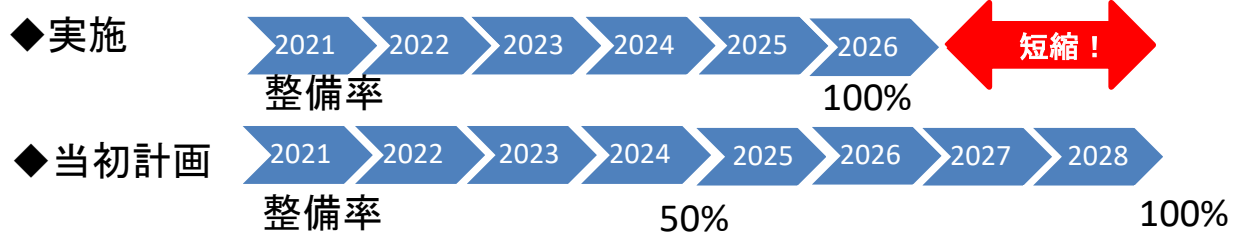
- ◆事業名 防災・安全交付金事業
(海岸耐震対策緊急事業)
かりや ひがしうら
- ◆海岸名 刈谷海岸、東浦海岸
(刈谷市小垣江町地内始め)

(2) 事業概要

- ◆目的: 治水安全度の向上
- ◆総事業費: 23.2億円
(5か年加速化対策事業費: 16.2億円)
- ◆事業期間: 2021年～2026年(予定)
- ◆整備内容: 耐震堤防 L=1390m

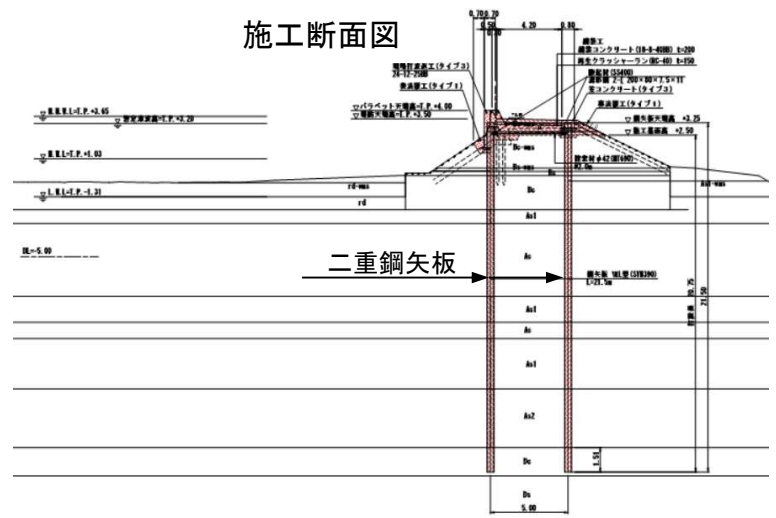
(3) 事業スケジュール及び効果

2026年度完成予定(整備が加速)



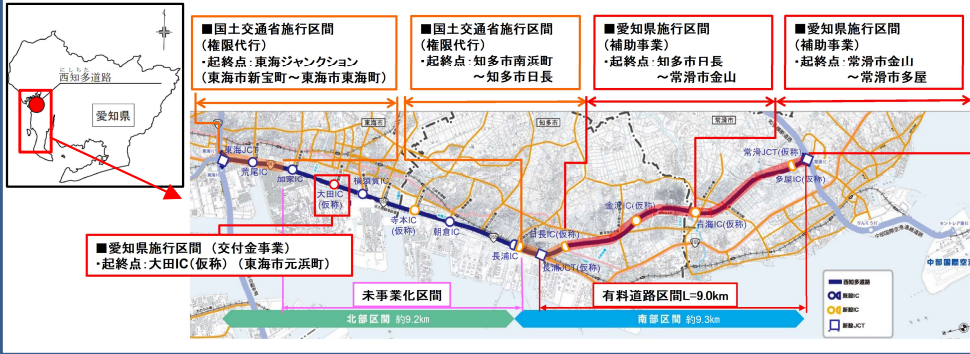
【効果】

➤本事業が完了することで一定範囲の浸水被害の軽減に寄与！



○ 路線概要

区間: 東海市～常滑市 延長: 約18.5km
 構造: 北部区間 第2種第1級(6車線) 南部区間 第1種第2級(4車線)
 事業主体:
 【国(権限代行)】・東海JCT(2車線ランプ:L=2.0km)、長浦IC～日長IC(L=1.6km)
 【県】・《補助》青海IC～常滑JCT(L=4.0km)、日長IC～青海IC(L=4.0km)
 ・《交付金》大田IC



○ 平常時・災害時問わず強靱な道路ネットワークを構築

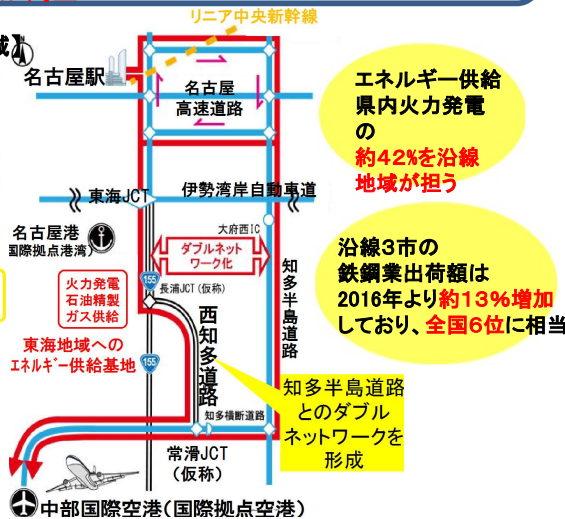
- ・名古屋駅、中部国際空港、名古屋港をダブルネットワークでつなぎ、**リダンダンシーを確保**
- ・**災害時**におけるエネルギー供給地域の**早期復旧**に寄与し、車両用燃料の搬出など、企業BCP計画に貢献
- ・混雑緩和が期待され、**生産性が向上**

○ 5か年加速化対策による事業状況

○5か年加速化対策で確保した予算により**事業が大きく進展**



【西知多道路沿線のエネルギー供給地域】



2027年度(R9)完成予定(整備が加速)

■ 事業スケジュール

◆5か年加速化対策活用	2021	2022	...	2026	2027	短縮!!			
整備率					100%				
◆当初計画	2021	2022	...	2026	2027	2028	2029	2030	...
整備率					50%				100%

○5か年加速化対策により、**工事着手箇所が増え、事業の進捗が目に見える**ようになってきている。
早期に事業効果の発現を図るためにも、整備を加速し1日も早い開通が必要であるため、5か年加速化対策後も、**別枠で予算を確保して継続的に取り組む必要がある。**

5か年加速化対策による愛知県道路事業の成果

加速化対策による名古屋岡崎線(中田工区)の整備は、災害時の物資・人材受け入れの起点となる新東名高速道路豊田南ICへのアクセス向上による緊急輸送道路網の機能強化を促進し、地域防災力の向上に貢献するとともに、災害時の産業活動の早期復旧を物流面から支援。

(1) [対策名] 51
 高規格道路のミッシングリンク解消及び4車線化、高規格道路と直轄国道とのダブルネットワーク化等による道路ネットワークの機能強化対策

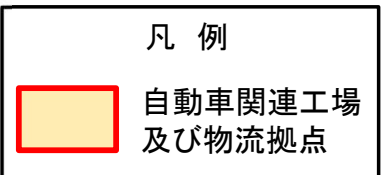
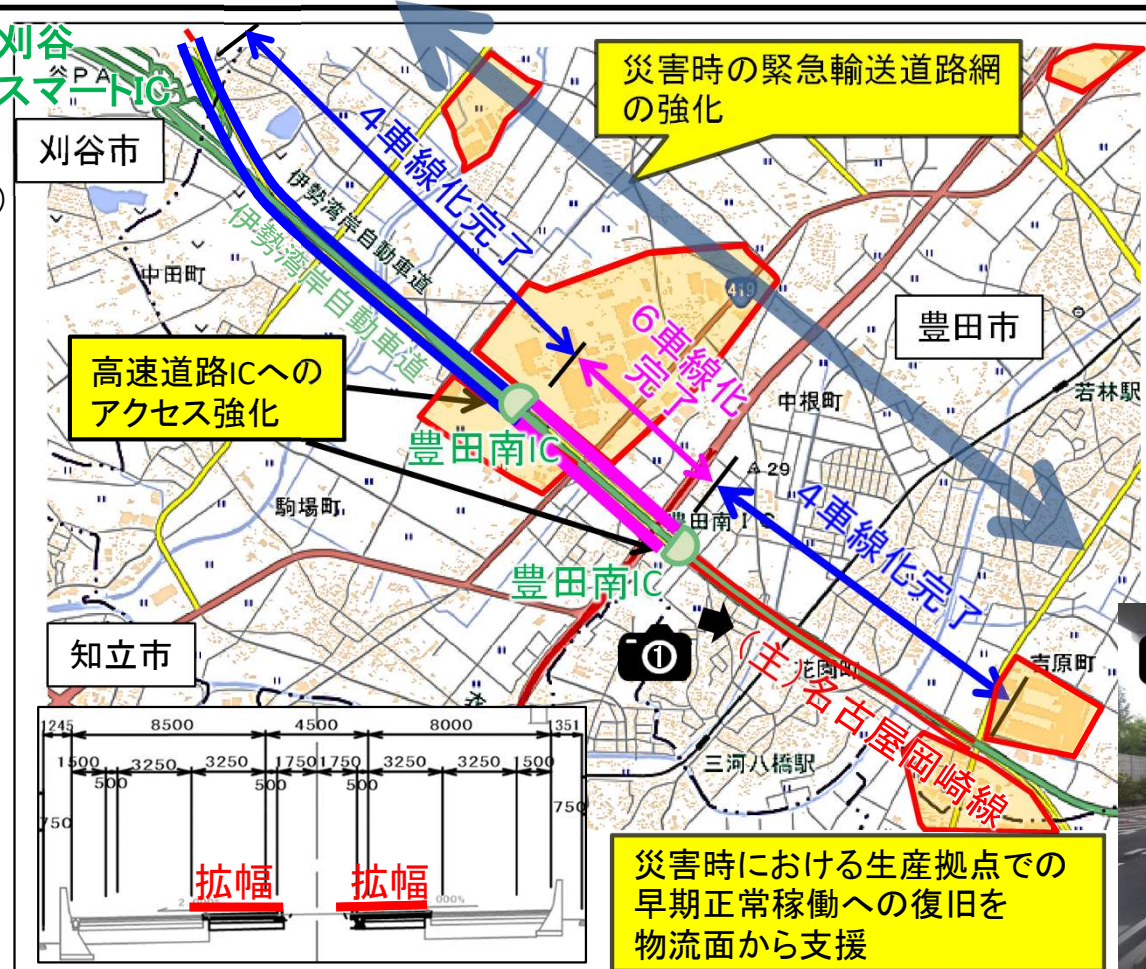
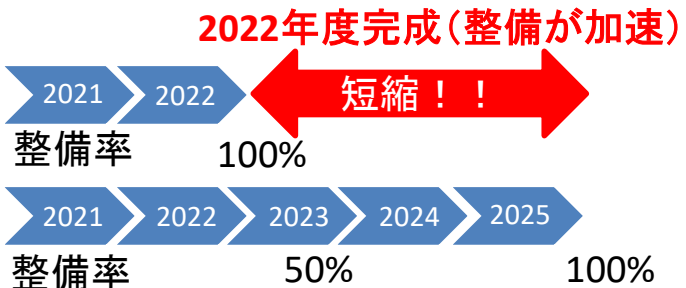
◆事業名 防災・安全交付金事業(道路事業)
 なごやおかざき
 ◆路線名 主要地方道名古屋岡崎線(中田工区)
 (豊田市中田町～豊田市吉原町)

(2) 事業概要

- ◆目的: 4車線の現道拡幅整備により、渋滞の緩和を図るもの
- ◆総事業費: 9.7億円
 (5か年加速化対策事業費: 2.88億円)
- ◆事業期間: 2019年～2022年
- ◆整備内容: 現道拡幅工事 L=4.4km

(3) 事業スケジュール及び効果

- ◆5か年加速化対策活用
- ◆当初計画



〔効果〕

- 豊田市南部地域における緊急輸送道路網の強化!
- 新東名高速道路豊田南IC及び刈谷スマートICへのアクセス性向上!
- 災害発生時における生産活動の早期正常稼働への復旧に貢献!

5か年加速化対策による愛知県道路事業の成果

加速化対策による瀬戸大府東海線(長久手工区)の整備は、災害時の物資・人材受け入れの起点となる東名高速道路名古屋IC及び名古屋瀬戸道路長久手ICへのアクセス向上や、混雑する長久手市中心部を迂回したネットワークの形成による緊急輸送道路網の機能強化を促進し、地域防災力の向上に貢献

(1) [対策名]51
高規格道路のミッシングリンク解消及び4車線化、高規格道路と直轄国道とのダブルネットワーク化等による道路ネットワークの機能強化対策

- ◆事業名 社会資本整備総合交付金事業 (道路事業) せとおおぶとうかい
- ◆路線名 主要地方道瀬戸大府東海線 (長久手工区) (長久手市長湫町地内)

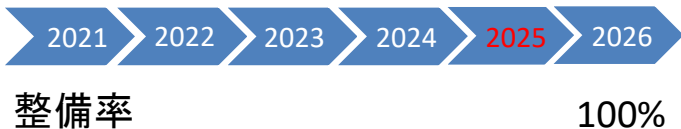
(2) 事業概要

- ◆目的: 4車線のバイパス道路の整備により、渋滞の緩和を図るもの
- ◆総事業費: 84.1億円 (5か年加速化対策事業費: 0.95億円)
- ◆事業期間: 2002年～2026年(予定)
- ◆整備内容: バイパス整備工事 L=1.5km

(3) 事業スケジュール及び効果

◆事業スケジュール

2025年度部分開通
L=0.3km



災害時の緊急輸送道路網の強化

市中心部の現道での渋滞を緩和

高速道路ICへのアクセス強化

部分開通 L=0.3km

長久手工区 L=1.3km

【現道の渋滞状況】

【部分開通状況】

5か年加速化対策活用により予定どおり完成する見込み

- 〔効果〕
- 尾張東部地域における緊急輸送道路網の強化！
 - 東名高速道路名古屋IC及び名古屋瀬戸道路長久手ICへのアクセス性向上！
 - バイパスへの交通分散による長久手市内中心部の交通渋滞の緩和！

5か年加速化対策による愛知県無電柱化推進計画事業の成果

一般県道 岡崎幸田線は、緊急輸送道路に指定されており、電柱倒壊による道路閉塞を防ぐため、無電柱化を推進し、災害時における救急活動や物資輸送等のための道路空間を確保する。

(1) [対策名]54

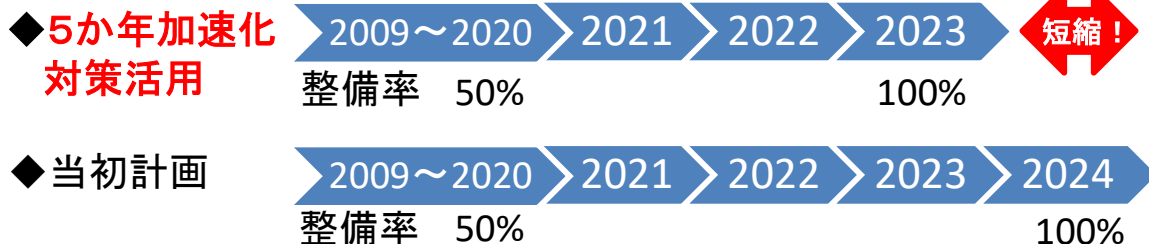
市街地等の緊急輸送道路における無電柱化対策

- ◆事業名 無電柱化推進計画事業
おがぎこうた
- ◆路線名 一般県道 岡崎幸田線
(岡崎市明大寺本町地内)

(2) 事業概要

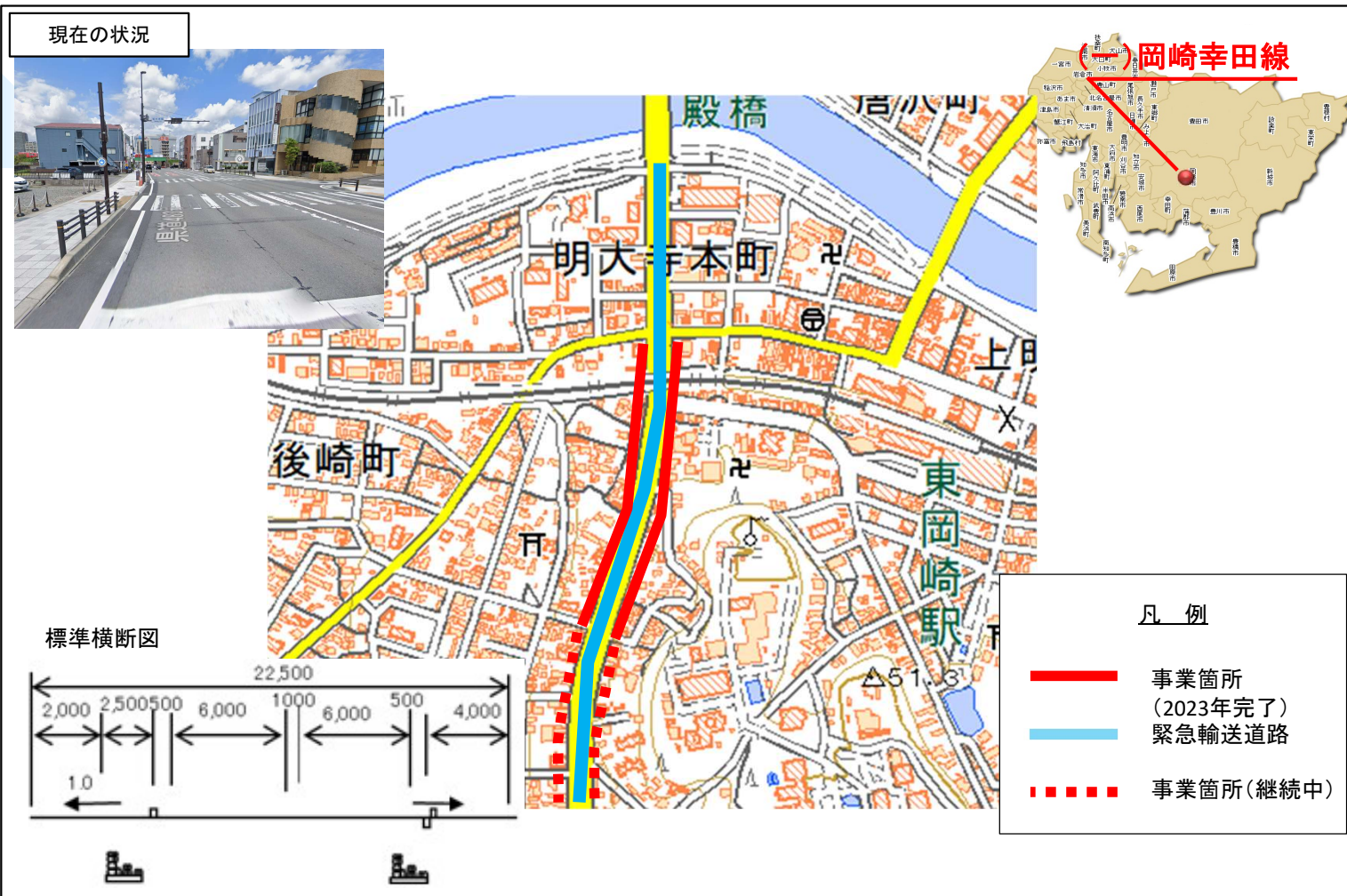
- ◆目的: 無電柱化の推進
- ◆総事業費: 8.4億円
(5か年加速化対策事業費: 0.37億円)
- ◆事業期間: 2009年～2023年
- ◆整備内容: 電線共同溝整備
整備延長 L=0.8km

(3) 事業スケジュール及び効果



〔効果〕

- 大規模災害時の被害の軽減
- 救急救命・復旧活動に必要な交通機能の確保



5か年加速化対策による愛知県急傾斜地崩壊対策事業の成果

中柴区域は、保全対象に要配慮者利用施設である岡崎市東部地域福祉センターを含み、早急にがけ崩れ対策施設の整備を行う。

(1) [対策名] 1-3 流域治水対策(砂防)

- ◆事業名 防災・安全交付金事業
(地すべり対策事業)
なかしば
- ◆区域名 中柴区域
(岡崎市山綱町地内)

(2) 事業概要

- ◆目的: がけ崩れから国民の生命を保護
- ◆総事業費: 3.8億円
(5か年加速化対策事業費: 1.7億円)
- ◆事業期間: 2018年度～2024年度
- ◆整備内容: 待ち受け擁壁工 L=190m
法枠工 A=790m²

(3) 事業スケジュール及び効果

◆ 5か年加速化 対策活用

整備率



100%

短縮!

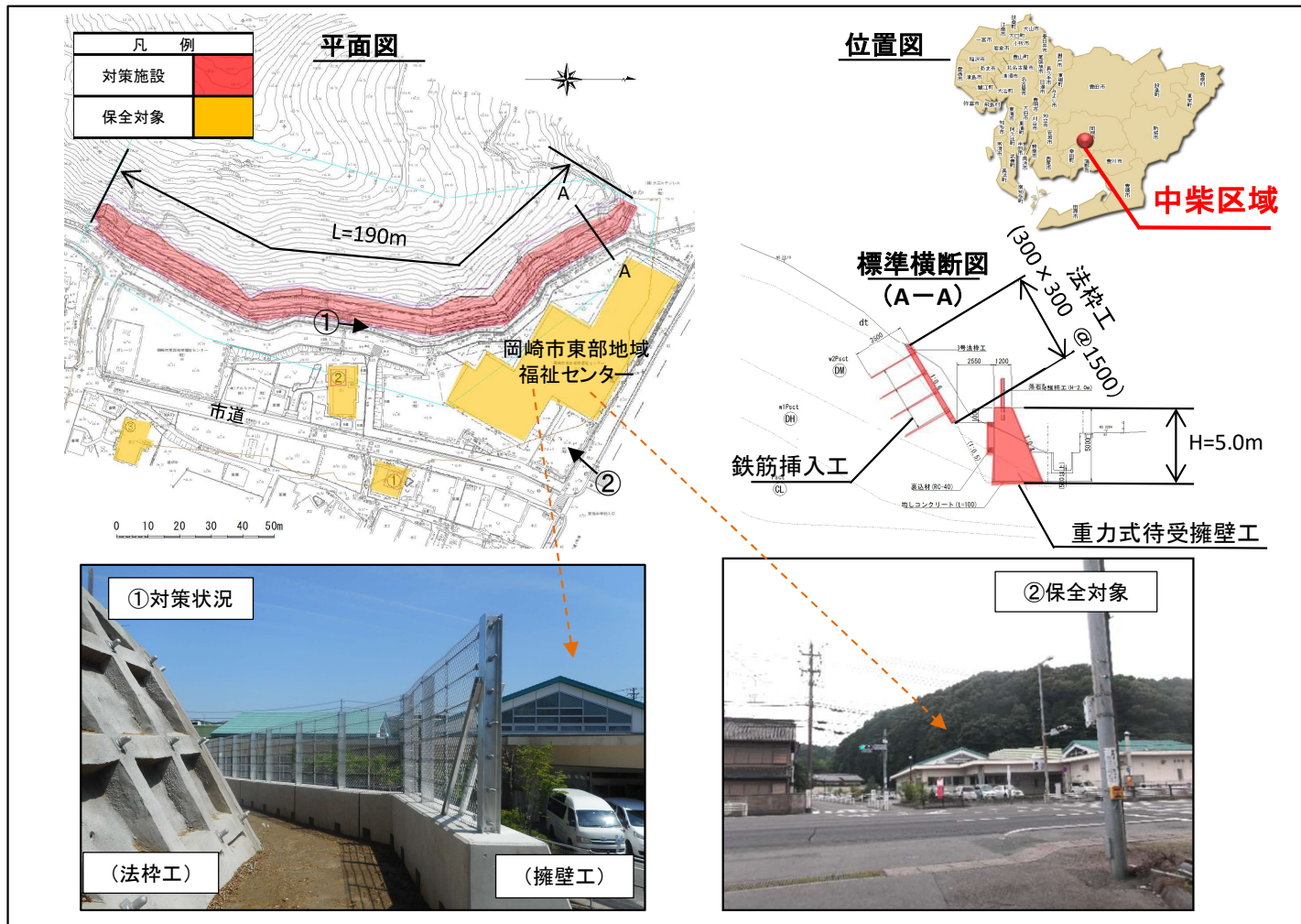
◆ 当初計画

整備率



81%

100%



【効果】

➢ 要配慮者利用施設「岡崎市東部地域福祉センター」、
人家3戸、及び市道をいち早くがけ崩れから保全する!

三河港田原地区において、南海トラフ巨大地震等の発生が危惧され、背後圏人口(約211千人)に対応した「緊急物資の輸送拠点」の機能や、物流機能の早期回復が求められている。そのため耐震強化岸壁及び泊地(水深10m)の整備を行い、災害対応力強化を図る。

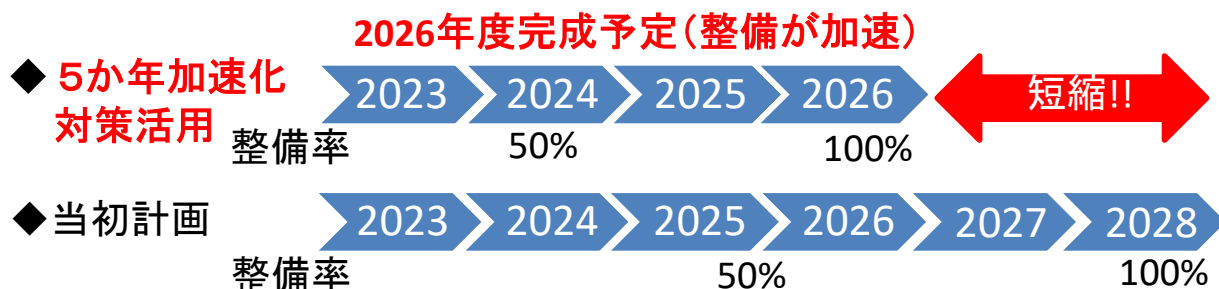
(1) 61-1 港湾の耐災害性強化対策 (地震対策)

- ◆事業名 三河港改修(重要)事業
みかわこう たはら
- ◆港湾名 三河港(田原地区)
(田原市緑が浜一号)

(2) 事業概要

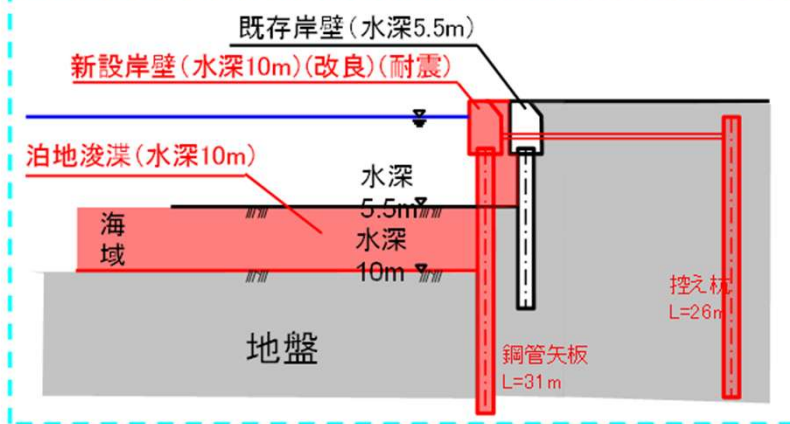
- ◆目的: 耐震強化岸壁の整備
- ◆総事業費: 53億円
(5か年加速化対策事業費: 7.8億円)
- ◆事業期間: 2023年~2026年(予定)
- ◆整備内容: 岸壁(水深10m) L=170m
泊地(水深10m) A=13ha

(3) 事業スケジュール及び効果



三河港田原地区

<計画断面図>



施工状況写真
(鋼管矢板による耐震補強)

【効果】

- 大規模地震時に背後圏への緊急物資輸送が可能!
- 震災後の物流機能の早期回復!

遠州灘に面する赤羽根漁港海岸において、津波浸水を防ぐための胸壁及び陸閘の整備を早急に行う。

(1) [対策名] 1-4 流域治水対策(海岸)

- ◆事業名 津波対策緊急事業
あかばね
- ◆海岸名 赤羽根漁港海岸
(田原市赤羽根町地内始め)

(2) 事業概要

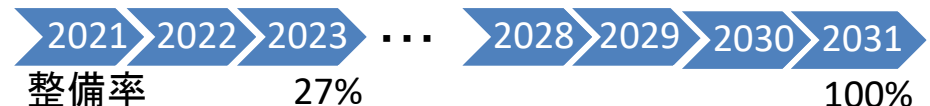
- ◆目的: 海岸保全施設の整備
- ◆総事業費: 16.0億円
(5か年加速化対策事業費: 1.6億円)
- ◆事業期間: 2021年～2030年(予定)
- ◆整備内容: 胸壁新設 L=610m
陸閘新設 N=1基

(3) 事業スケジュール及び効果

◆ 5か年加速化対策活用



◆ 5か年加速化対策なしの場合



第二次緊急輸送道路(国道42号)

胸壁(新設) L=610m

陸閘(新設) N=1基

赤羽根漁港

凡例	
	海岸保全区域
	当計画
	他事業(農山漁村地域整備交付金)
	他事業(河川事業)
	防護区域(対策前の浸水範囲)

整備中の胸壁

陸閘整備予定箇所と整備イメージ

〔効果〕

- 漁港背後地の30ha(居住人口90人)の津波浸水を防止!
- 第二次緊急輸送道路である国道42号の津波浸水を防止!

東三河ふるさと公園は、広域防災拠点に位置付けられており、東三河地域の防災機能を早急に向上させるため、公園施設整備を進める。

(1) [対策名]29 防災公園の機能確保に関する対策

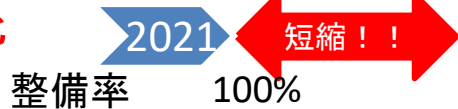
- ◆事業名 防災・安全交付金事業
(都市公園事業)
ひがしみかわ
- ◆公園名 東三河ふるさと公園
(豊川市御油町地先)

(2) 事業概要

- ◆目的: 防災活動拠点となる駐車場の整備を行う。
- ◆総事業費: 0.6億円
(5か年加速化対策事業費: 0.6億円)
- ◆事業期間: 2021年度
- ◆整備内容: 駐車場整備 0.3ha

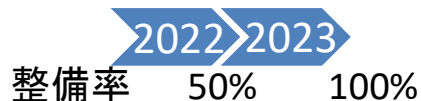
(3) 事業スケジュール及び効果

◆5か年加速化
対策活用



2021年度完成(整備が加速)

◆当初計画



整備前



整備後



東三河ふるさと公園
全景(整備後)

防災活動拠点(活用イメージ)



消防航空隊との合同訓練(大高緑地)



〔効果〕

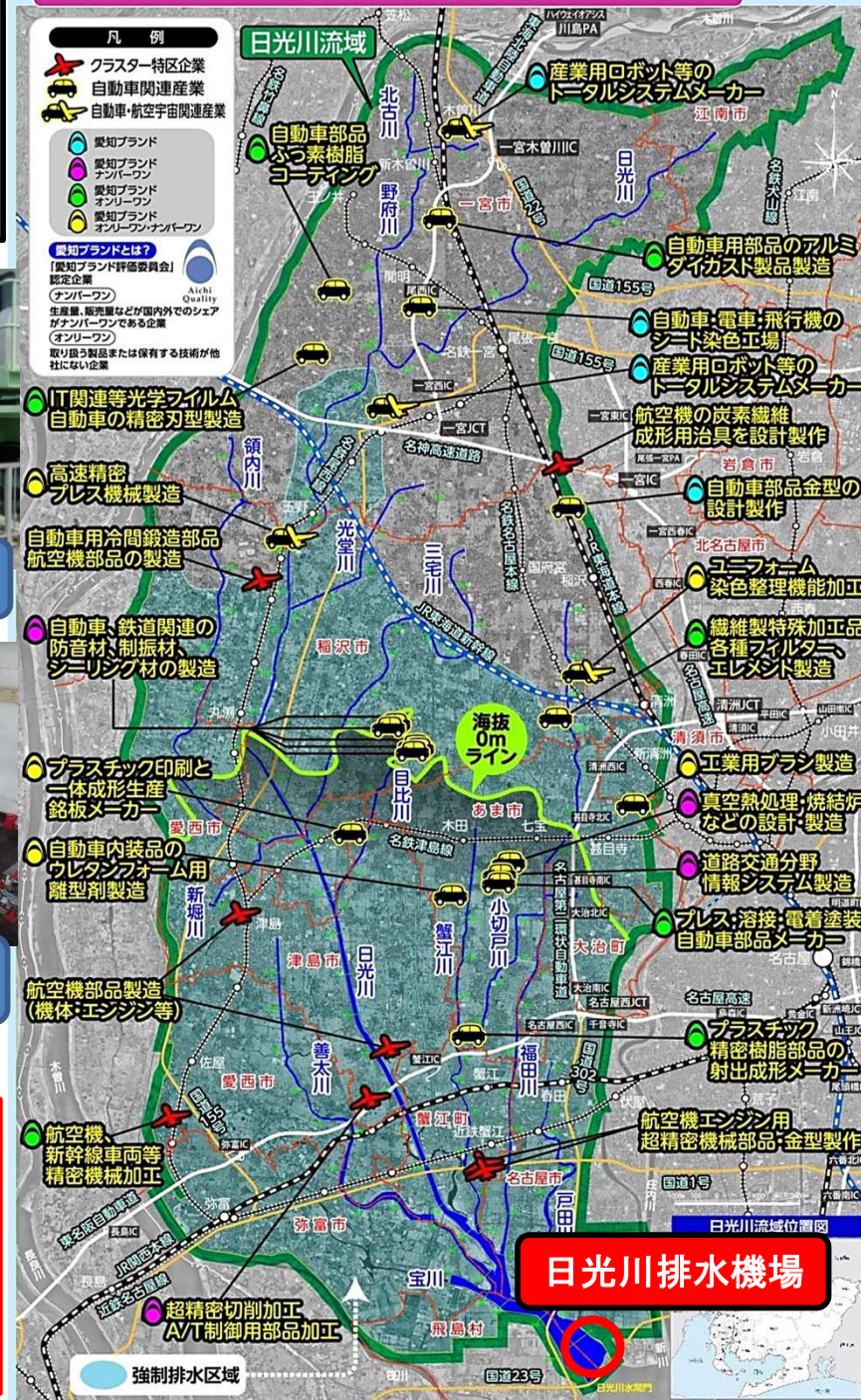
- 災害時の活動の場0.3haを確保。
- 日常利用として、67台分の駐車スペースを確保。

2. 予防保全型メンテナンスへの転換 に向けた老朽化対策の事例

5か年加速化対策による愛知県河川事業の成果

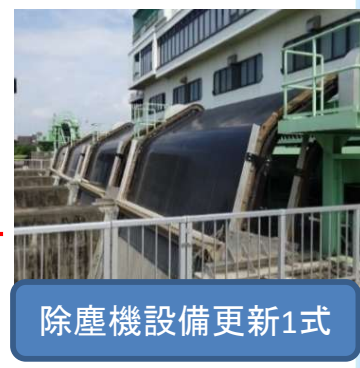
日光川流域は40%が海拔ゼロメートル地帯、2/3がポンプ排水が必要であり、浸水に極めて脆弱な地域である。高潮などで水門が閉鎖されると海へ排水できなくなるため、日光川排水機場を稼動しポンプ排水(200m³/s)することで流域全体を浸水被害から守っている。流域の治水の要である日光川排水機場を長寿命化計画に基づき計画的に整備・更新することで、流域全体の浸水被害の軽減を図る。

日光川流域の自動車・航空宇宙関連産業と交通網



(1) [対策名]79-1 河川管理施設の老朽化対策

- ◆事業名 防災・安全交付金事業 (特定構造物改築事業)
にっこうがわはすいきじょう
- ◆河川名 日光川排水機場
(海部郡飛島村大字梅之郷地先)

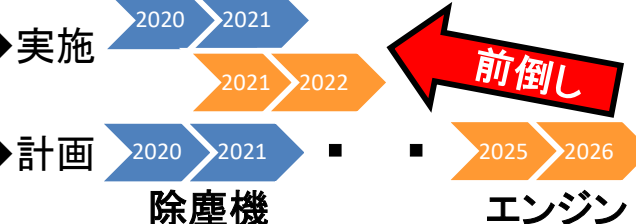


(2) 事業概要

- ◆目的: 老朽化対策
- ◆総事業費: 7億円
(長寿命化計画総事業費: 168億円)
(5か年加速化対策事業費: 7億円)
- ◆整備内容: 主ポンプ用エンジン
分解整備 N=3台
除塵機設備更新 N=1式



(3) 事業スケジュール及び効果



〔効果〕

- 5か年加速化対策予算により、ポンプの正常な排水機能を確保。
- 自動車・航空宇宙産業のサプライチェーンを守り、日本経済の生産性を確保。

日光川排水機場

(主)知多東浦線(寺本跨線橋)では、橋梁定期点検において、第三者被害の恐れのあるコンクリートの「剥離」が多数確認され、「Ⅲ:早期措置段階」と診断されたことから、橋りょう補修事業を実施する。

(1) [対策名]84 道路施設の老朽化対策

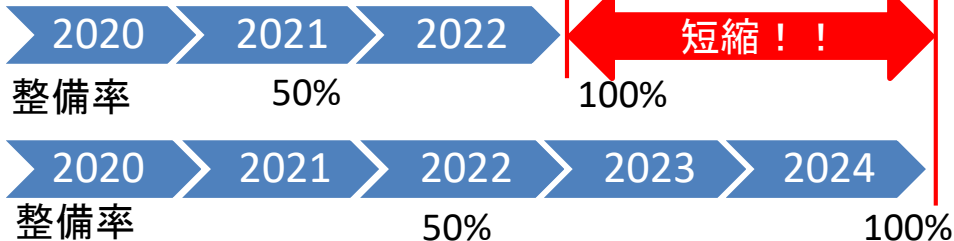
- ◆事業名 道路メンテナンス事業
ちたひがしうら
- ◆路線名 (主)知多東浦線
てらもとこせんきょう
(寺本跨線橋)
- ◆箇所名 知多市八幡地内

(2) 事業概要

- ◆目的: 橋りょうの老朽化対策
- ◆総事業費: 1.32億円
(5か年加速化対策事業費: 0.42億円)
- ◆事業期間: 2020年～2022年
- ◆事業内容: 橋梁補修

(3) 事業スケジュール及び効果

◆5か年加速化
対策活用



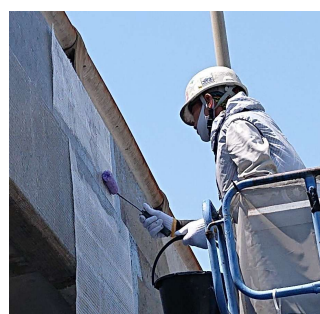
- (主)知多東浦線は、知多市を起点とし、知多郡東浦町に至る幹線道路であり、10,977台/日(H27センサス)の交通量を有する重要な路線である。
- 当該箇所の桁下直下は駐輪場として利用され、その横には側道が走っている。駐輪場の利用者や、側道を走行する車両等へ被害の恐れがある損傷を補修する。



<損傷状況>



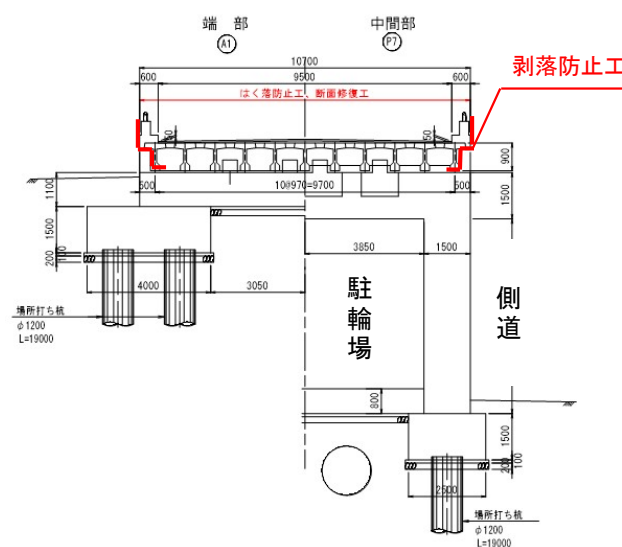
<剥落防止工施工状況>



<現地状況>



<断面図>



〔効果〕

➢ 第三者被害の恐れがある損傷を2か年前倒し
早期補修が完了!

老朽化が進む浄化センター設備の改築を集中的に実施し、予防保全型インフラメンテナンスを着実に推進

(1) [対策名]83

下水道施設の老朽化対策

- ◆事業名 防災・安全交付金事業
(流域下水道事業)
ごじょうがわさがん
- ◆処理場 五条川左岸浄化センター
(小牧市新小木)

(2) 事業概要

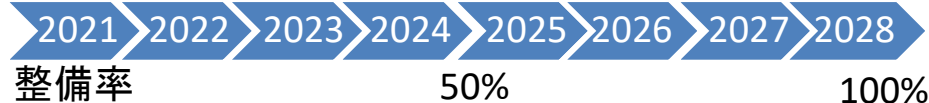
- ◆目的: 健全度が低下した
浄化センター設備の改築
- ◆総事業費: 約40億円
(5か年加速化対策事業費: 7.4億円)
- ◆事業期間: 2020年～2025年
- ◆整備内容: 水処理施設機械設備更新工事(散気装置)
分配槽設備更新工事 等

(3) 事業スケジュール及び効果

◆5か年加速化 対策活用



◆当初見込み



◎ 五条川左岸浄化センターの特徴

- ・ 1987年に供用開始しており、設備の老朽化が進んでいる。
- ・ 処理場が住宅地のそばにあり、下水処理が停止した場合、周辺の住環境へ与える影響が大きい。



水処理施設機械設備更新工事(散気装置)



汚水処理に必要な空気を送り込む設備を省エネ型に更新
消費電力47%減

年間123t-CO₂を削減

分配槽機械設備更新工事



壊れると水量の調整ができなくなり水質が悪化する恐れがある。

〔効果〕

➤老朽化に起因する下水処理の停止リスクの解消。

(改築が必要な、健全度が低下した設備数ゼロ)

老朽化が進む浄化センター設備の改築等を集中的に実施し、予防保全型インフラメンテナンスを着実に推進

(1) [対策名]83

下水道施設の老朽化対策

◆事業名 防災・安全交付金事業
(流域下水道事業)

とよがわ

◆処理場 豊川浄化センター
(豊橋市新西浜町)

(2) 事業概要

◆目的: 健全度が低下した
浄化センター設備等の改築

◆総事業費: 約17億円
(5か年加速化対策事業費: 1.7億円)

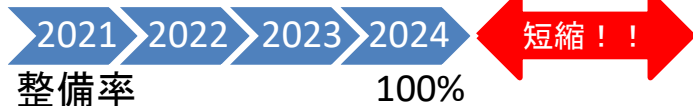
◆事業期間: 2020年～2024年

◆整備内容: 水処理施設電気設備更新工事
管渠改築工事 等

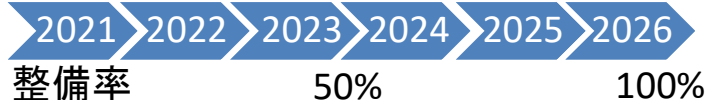
(3) 事業スケジュール及び効果

2024年度完了予定(整備が加速)

◆5か年加速化
対策活用



◆当初見込み



◎ 豊川浄化センターの特徴

- ・ 1980年に供用開始しており、設備の老朽化が進んでいる。
- ・ 下水汚泥のエネルギー利用を行うPFI事業を2014年から実施している。



水処理施設電気設備更新工事



壊れると汚水処理に必要な
設備の運転ができなくなり、
水質管理が悪化する。

管渠改築工事



これ以上劣化が進行すると
陥没や下水への土砂流入の
危険性がある管の更新

【効果】

➤老朽化に起因する下水処理の停止リスクの解消。

(改築が必要な、健全度が低下した設備数ゼロ)